

2026年6月1日

商号 SBIアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号  
 加入協会 一般社団法人資産運用業協会

『SBI・光ハイクオリティ・バリュー株ファンド』設定のお知らせ  
 ～企業のキャッシュフロー創出力と本質的価値に着目する日本株アクティブ運用～

SBIアセットマネジメント株式会社（以下「SBIアセット」）は、日本企業の本質的価値を長期的な目線で独自に評価し、割安銘柄へ投資を行う公募投資信託『SBI・光ハイクオリティ・バリュー株ファンド』（愛称：ひかり優良バリュー、以下「本ファンド」）を2026年7月1日（水）に設定し、運用を開始いたします。

ファンド名	SBI・光ハイクオリティ・バリュー株ファンド (愛称：ひかり優良バリュー)
投資対象資産/地域	株式/国内
信託報酬（年率・税込）	年0.979%（税抜：年0.89%）+実績報酬 <sup>※1</sup>
投資方針	企業のビジネス分析や財務分析等による銘柄分析を通じて、長期的に安定したキャッシュフロー創出力に優れながら、本質的価値と株価の乖離が大きい銘柄を厳選してポートフォリオを構築します。
NISA対応	「成長投資枠」対象（予定）
投資顧問（助言）会社	光通信投資顧問株式会社
当初申込期間	2026年6月17日（水）～2026年6月30日（火）（予定）
設定・運用開始日	2026年7月1日（水）（予定）

本ファンドは、長年にわたり多様な事業投資および純投資を展開してきた株式会社光通信（東証プライム上場企業）の実績やノウハウを活かすべく、光通信の100%子会社である光通信投資顧問株式会社の投資助言を受けて運用を行います。

足もとの日本株市場では、AI需要拡大を背景とした半導体相場でグロース銘柄が相場を牽引しています。一方、本ファンドでは、短期的な市場の評価に左右されず、継続的な収益（ストック）<sup>※2</sup>を生み出すビジネスモデルを展開する企業に着目してバリュー株に投資を行い、相場の変化局面に備えます。

本ファンドは、光通信投資顧問株式会社の「株を買おうということは、その会社のビジネスの一部を保有すること」という考え方のもと、企業の本質的価値に対して市場評価との乖離があると考えられる銘柄を厳選し、中長期的な信託財産の成長をめざします。

本ファンドの信託報酬は、日本株アクティブファンドとしては低水準<sup>※3</sup>の年率0.979%（税込）を実現。さらに、光通信投資顧問への助言報酬には固定報酬を設けず、実績報酬<sup>※1</sup>のみとすることで投資成果を追求します。

今後も「顧客中心主義」のもと、良質かつ低コストの運用商品を提供すると共に、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1 実績報酬＝（基準価額－ハードル価額）×16.5%（税込）、ハードル価額＝（1＋配当込みTOPIXの騰落率）×ハイ・ウォーターマーク  
 ハイ・ウォーターマーク＝過去の決算期末における最も高い1万口当たり基準価額

※2 エネルギーや通信等のインフラ事業、設備・システム等の定期メンテナンス事業、不動産賃貸業等の継続的収益を「ストック」と定義

※3 公募追加型の日本株アクティブ投信（DC、SMA、ETF等除く）を対象とし、ウエルスアドバイザー調べ（2026年5月29日時点）

対象となる450ファンドの平均年1.494%に対する結果。また、信託報酬低位9%未満に該当。

\*\*\*\*\*【本件に関するお問い合わせ先】\*\*\*\*\*

SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話：03(6229)0170

（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号、加入協会：一般社団法人資産運用業協会）

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

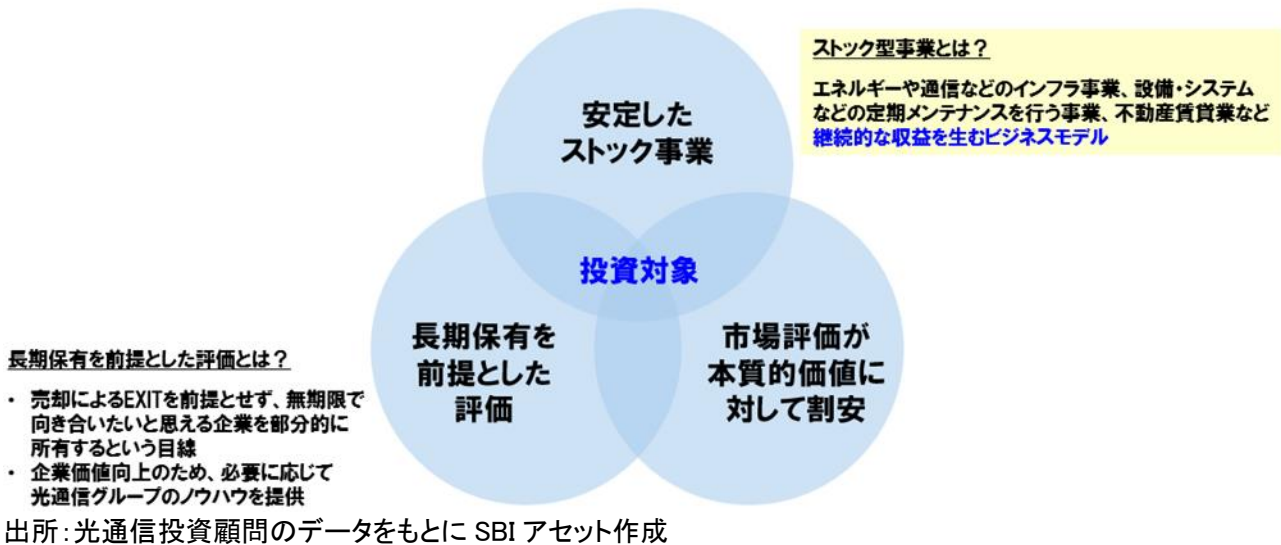
【ご参考】

● 投資助言を行う「光通信投資顧問株式会社」のご紹介

光通信投資顧問株式会社は株式会社光通信の100%子会社です。「ストック<sup>※2</sup>事業会社」である光通信グループの視点から、安定した収益基盤である「ストック<sup>※2</sup>」を保有する企業の本質的価値を、長期的な目線で独自評価し割安銘柄へ投資する、光通信流の投資戦略を基に投資助言を行う投資顧問会社です。

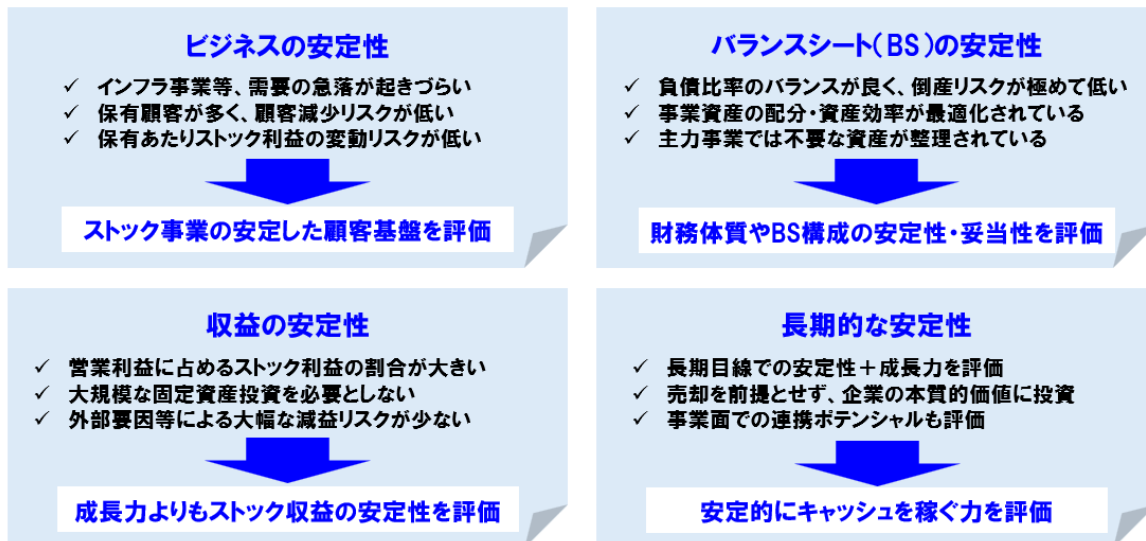
● 投資対象について

光通信投資顧問株式会社が「安定したストック事業」、「長期保有」、「割安な株価」をキーワードに国内株式を分析し、投資対象を選定します。



● 銘柄選定基準について

企業規模を問わず、独自の指標で個別銘柄を分析し割安銘柄へ投資を行います。



出所：光通信投資顧問のデータをもとに SBI アセット作成

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 投資信託にかかるリスク

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の変動要因としては以下のものがあります。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。詳しくは各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご確認ください。

### 主な変動要因

- 株価変動リスク
- 信用リスク
- 流動性リスク

### その他の留意点

- 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 有価証券の貸付取引を行う場合は、取引先リスク(取引の相手方(レンディング・エージェントを含みます。))の倒産等により契約が不履行になることが生じる可能性があります。
- 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じ、マザーファンドの組入れ有価証券に売買等が生じた場合等には、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。
- 本ファンドの実績報酬算出に伴い、特に計算期末の基準価額公表が遅延する可能性があります。

## お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

### (お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 購入価額に3.3%(税抜3.0%)を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。  
※詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### (途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 ありません

### (保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬(2026年6月1日現在): ①基本報酬と②実績報酬の総額とします。
  - ① 年0.979%(税抜:年0.89%)
  - ② 実績報酬=(基準価額-ハードル価額)×16.5%(税込)、ハードル価額=(1+配当込みTOPIXの騰落率)×ハイ・ウォーターマーク  
ハイ・ウォーターマーク=過去の決算期末における最も高い1万口当たり基準価額

### ● その他の費用

信託財産にかかる監査報酬、信託事務の処理に要する諸費用、法定書類(目論見書、運用報告書等)の作成・印刷・交付にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管に要する費用等の費用は、原則として受益者の負担とし、信託財産中から支払われます。なお、これらの費用は、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

## 投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のおお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様へ帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。